

物件査定サイトの名称変更

リビン・テクノロジーズ

不動産業務支援システムを手掛けるリビン・テクノロジーズ（東京都中央区）は15日、不動産比較サイト『スマイスター』の名称を変更することを発表した。

新たな名称は『リビンマッチ』。社名との統一感を出して、ブランディング強化を図る。

『リビンマッチ』は不動産売却をはじめ、買い取り、賃貸管理、不動産事業に特化した人材紹介や求人案内を手掛けるサイトだ。

「不動産を賃貸として貸し出すか売却したほうがよいのかわからない」というユーザーの声から、賃料と売却価格をま

とめて査定することができると。ユーザーは無料で利用できる。個人情報や物件情報を一括で見積もりを出すことができるため、不動産情報の入力の手間を省くことができる。

同社は2018年6月に社名を変更した。

サイトの名称変更に伴い、不動産・住宅関連業界の経営者やビジネスパーソンを対象に不動産関連情報を発信するWEBマガジン『スマイスターMagazine Biz』も『リビンMagazine Biz』に名称変更した。

広報担当者は「今後は不動産売却査定サイトでの首位を目指していく」と話した。